

ディスプレイザブル気管内吸引チューブ

再使用禁止

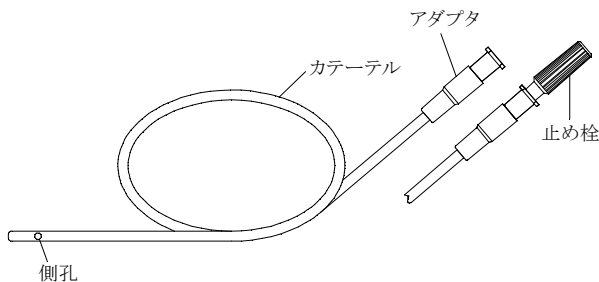
【禁忌・禁止】

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

- * 本品は、患者の体内に挿入するカテーテルと吸引源に接続するアダプタから構成され、カテーテルを咽頭、喉頭、気管又は気管支に挿入し、吸引源と接続することで吸引、排液及び異物除去ができる。

* <構造図(代表図)>



- * カテーテル：ポリエチレン

【使用目的又は効果】

- * 本品は、経鼻又は経口的に、気管内チューブ又は気管切開チューブを介して咽頭、喉頭、気管又は気管支に挿入し、吸引、排液及び異物除去に用いる。

【使用方法等】

- 1) アダプタに定圧持続吸引装置を接続する。
- 2) 必要に応じ、滅菌蒸留水を吸引して、カテーテルの先端を濡らす。
- 3) 吸引を中止した状態で目的の吸引部位まで挿入する。
- 4) 目的の吸引部位まで到達したら、吸引を開始する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- 1) 使用の際は、汚染に十分注意すること。
- 2) 操作中に 20kPa (150mmHg) を超える吸引圧を掛けないこと。
[粘膜損傷の原因となる。]
- 3) 気管内チューブから本品を挿入する場合は、気管内チューブの内径に合ったカテーテルサイズを選択すること。
[本品破損、併用医療機器破損、粘膜損傷の原因となる。]
- 4) 一度抜去したカテーテルは、再挿入せず新しい本品と交換すること。
[細菌汚染の危険性がある。]

【使用上の注意】

<不具合・有害事象>

手技に伴い、一般的な不具合や有害事象が発生する恐れがある。有害事象が発生した場合は術者の知見に基づき、適切な処置を行うこと。

- 1) その他の不具合
 - ① 破損
 - ② キンク
 - ③ 閉塞
 - ④ 漏れ
- 2) 重大な有害事象
 - ① 感染

3) その他の有害事象

- * ① 粘膜損傷
 ② 出血
 ③ アレルギー反応
 ④ 体内遺残

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

水ぬれ、直射日光、高温多湿を避け保管すること。

<有効期間>

箱に記載している使用期限を参照のこと。(自己認証による)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

株式会社八光
 TEL 026-275-0121

* <製造業者>

株式会社八光

販売窓口:

東京都文京区本郷三丁目 42-6
 TEL 03-5804-8500